

## 川内原発再稼働を地球が怒る—桜島の噴火 規制委・田中の、投げやり発言は許せない



規制委・田中委員長



▲桜島の噴火。警報はレベル4(避難勧告)へ

▲「原発はどうなるか判らない」と発言

8月11日の川内原発再稼働を怒るかのよう  
に、15日、桜島の活動が活発になり「避難準備」  
の警報が出ました。住民の皆さんのご心配  
は、いかばかりでしょうか。

ところが九州中の人々が即死するというなら  
当然、原発は制御不能になり、爆発に至るで  
しょう。放射能は全日本と世界に広がります。

### ●住民の心情を逆なでする、田中発言

ところが再稼働前の8月5日の記者会見で、  
規制委員会の田中委員長はNHKの質問に対  
し、とんでもない発言をしていました。

「始良カルデラ(噴火)が起こったら、九州全  
域の人はほとんど即死状態になる・・・そのよ  
うな状況のときに一原発だけの問題として捉え  
ていいのかわかるか」と。

これはカルデラ噴火の可能性を逆手に取り、  
住民を脅しつけ、思考停止させる作戦です。そ  
の際の原発事故は小さな問題という「詭弁」で

### ●原発を監視しよう。2号機を動かすな!

そもそも原発は、15センチの降灰があった  
だけで、フィルターが目づまりします。車で原  
発に応援に駆けつけることもできません。そんな  
脆弱な原発の安全対策を、いい加減にしてき  
た規制委の、居直りを許してはなりません。

16日には原発は大量の水蒸気を放出、「さ  
ては事故か」と、周辺住民を不安にさせました。  
原発の監視を怠らず、何かあれば九電に説明  
を求めましょう。

10月中旬と言われる2号機の再稼働に対し、  
再度、大きな抗議行動を準備しましょう。